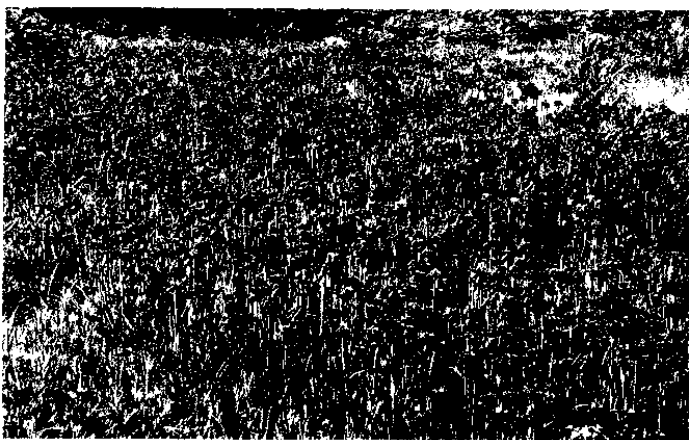


広報 まつのやま

1991 7月号 (No.185)



なかなかカゴが一杯にならなかった紅白玉入れ(松之山地区体育大会)



堀切菴蒲園分園(大巖寺高原)

△△△△ 今月号の話題 △△△△

地区体育大会特集	2・3
6月定例議会	4
松之山町史発刊	5
暮らし便利帳	6・7
6月のフォトニュース	8～11
集落探訪(豊田)	12
公民館だより	14・15

トップをきって開催

田植え作業が一段落した六月の第一日曜日、東川小学校グラウンドで行われました。

当日は暑くも寒くもなく、絶好の体育大会日和となりました。特に紹介したい競技は「子供増しりレー」です。

一般の男女がペアになり、膨らませた風船を一輪車に載せ、お互いに一輪車の取っ手を一本づつ持つて押しながら子供たちの所まで行きます。

を腹と腹の間に入れて破裂させ、待っていた子供を一輪車に載せて帰る競技です。

男同士の組があったり、本当の夫婦で参加して観衆から大声援をもらう組もありました。

東川小学校全児童によるソング・マーチは、一メートル四方位の旗をリズムにあわせて上手に動かし、広いグラウンドも狭く感じられるほどでした。一般の参加者も多く、地区ぐるみで楽しんでいました。



大歓声のなか行われた子供増しりレー

地区大会

6・2 布川地区

6・16 松之山地区

小雨のなか頑張りました

小雨が降る松之山小学校グラウンドで空を気にしながら行われましたが、子供たちの元気良い声が通じたのが最後までグラウンドでできました。

競技のなかで楽しく感じたのは「健全な体と健全な心」頭と体のバトルロイヤル、簡単に説明すると障害物レースです。ハンジくぐり・綱くぐり・暗算・ヤクルトの二気飲み・平均台・パン食いと六つの障害を乗り越えてゴールです。

お昼真近だったので、ヤクルトとパンをいただいた五・六年生は喜んでいました。

また「なにからなまでに」という競技も楽しく、一人が着せかえ人形役で他の人が次々とリレーして指がされた着物を着せ、着せ終わったら一人が一步だけ人形役の人の足を動かしゴールまで連れてくる競技です。

男性のみの競技でスカートをはいたり口紅をつけたりと、モデルさん顔負けの美しさでした。



脚力よりも運の強い子が勝った？
頭と体のバトルロイヤル



風船を小さく膨らませ
頬と頬をピッタリ

体育 特集

楽しい競技がいっぱい

浦田小学校グラウンドで、松里地区と同じく小雨のなか楽しい競技が行われました。小学校低学年対老人会の玉入れは一回目老人会の勝ち、二回目低学年が勝ちました。決勝の三回目、玉の重さでカゴが徐々に下がってきた低学年が勝ちました。借り物レースでは拾ったカードを見て喜ぶ人、ガツカリする人などさまざまでした。

また「タバコを吸っている人」や「校長先生」というカードがあり、本部席に戻ったと思っただけにまた引張り出されるという一幕もありました。アベックレースでは女性の参加者が多かったため、二回出場する男性もいて観衆から盛んな声援を受けていました。頬と頬の間に風船を入れ、落さないようにゴールインするのはなかなか難しく、笑顔のたえない一日でした。

6・16 浦田地区

6・23 松里地区

盛りだくさんの競技

曇り空の下、松里小学校グラウンドで行われました。集落対抗競技になると、選手に送られる声援も一段と大きくなりました。午後から行われた「親子はひとつ？」という競技は、親子で手をつないでスタートし、新聞紙のある所に來たらその新聞紙を背中と背中の間に入れて、落さないように指定された地点まで行きます。折られた新聞紙を広げると二



まわす人と飛ぶ人の呼吸が難しい
長なわ飛び競争

つの穴があいていて、新聞紙を破らないように穴に頭を入れてゴールする競技です。長なわ飛び競争では、本番前の練習の方がよく飛べたチームもあり、全員の呼吸を合わせる難しさを感じていました。ジュースの早飲み競争に出場した人のなかには、ビールの早飲みの方が良いといって周囲の人たちを笑わせていました。地区の活気がそのまま伝わってくるような大会でした。

6月定例議会

慎重な審議で全議案を可決

平成三年度の六月定例議会が六月二十日開催され、十二の議案が審議されました。

審議された主なものは、平成三年度の一般会計・国民健康保険特別会計・老人保険特別会計の補正予算を中心に、条例の一部改正や制定を議決しました。また、三千万円以上の工事請

負契約関係では、上鰻池飲料水供給施設建設工事など四つの工事について、契約内容を確認し議決しました。

なお、第一回の平成三年度一般会計補正予算は四月二十六日専決され、町道の災害復旧工事費四七四万六千円を中心に、六三万七千四百円がこの議会で承認

平成三年度一般会計補正予算
(第二回)の主なもの

三億二五一三万九千円を追加し、総額三十億四一六六万二千円とする。

▼総務費

○旧浦田中学校体育館屋根葺替え及び一部取壊し工事 四四〇万円

▼民生費

○高齢者福祉対策基金積立金

▼農林水産業費

○ふるさと生活体験交流館建設工事 一億六五四万一千円
○野々海水越線改良工事 三〇〇m 八〇一万八千円
○泉宮農免農道浦田地区負担金増 九八〇万四千円

▼教育費

○松之山町史印刷費 二二〇〇冊 一九八九万円

▼災害復旧費

○北浦田干場線外二線災害復旧費 四五五〇万円

▼土木費

○松口中央線外二十二か所道路修繕工事 一〇〇〇万円

▼消防費

○消防防災無線通信施設建設工事費増 一一〇〇万円

三千万円以上の工事請負契約の議決

- ①町道湯本・鬼口線の局部改良工事(湯田地区内・二四〇m)
- ②三〇七九万七千円で(株)高橋組と契約
- ③上鰻池飲料水供給施設建設工事(管延長四一九〇m)
- ④七九八二万五千円で(株)高橋組と契約
- ⑤下布川地区コミュニティセンター新築工事(鉄骨造り二階建・二四三㎡)
- ⑥四八四一万円で(株)高橋組と契約
- ⑦団体営農道整備事業(田麦立地区農道改良工事・四五三㎡)
- ⑧三一四一万五千円で(株)飯塚建設と契約

町の選挙日程決まる

◎松之山町長及び松之山町議会議員一般選挙

告示日 平成3年8月26日(月)
選挙期日 平成3年8月31日(土)

◎松之山町農業委員選挙

告示日 平成3年9月16日(月)
選挙期日 平成3年9月21日(土)

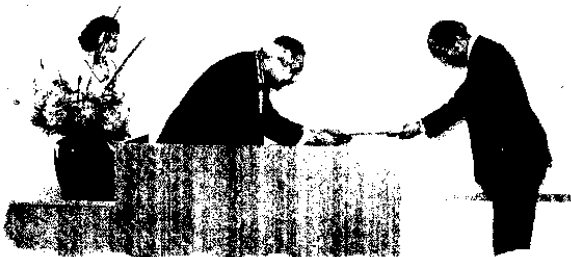
松之山町史発刊

豊かな自然と歴史がこの一冊に

ご協力ありがとうございました

町制施行三十周年記念事業の一環として、昭和六十二年度から始まりました松之山町史編さん事業がようやく完了しました。予定より約二か月ほど遅れてしまい、予約された方々から矢のような催促を受け、担当者も遅れた事を詫びるとともに、新ためて皆さんの感心の高さに良い町史を作ろうと思いました。完成した松之山町史は約一〇〇ページと他の町史とあまり変わりませんが、外箱・表紙などは今までに例のない体裁と

松之山町史出版記念式典



久保田好郎編集委員長に感謝状贈呈

なっています。

シラビアも各章（自然編は各節）ごとに入り、本文中でも五〇〇枚を超える写真が使用されています。

見やすさと読みやすさに重点を置き、さらに保存に適した中性紙を使用しています。

たった一冊の本ですが四年間にわたる地道な調査と、町民の皆さんのご協力によってようやく完成したものです。

この町史が広く利用されることを願うとともに、いろいろなご協力をいただいた方々に紙面を借りてお礼を申し上げます。

編さん室職員一同

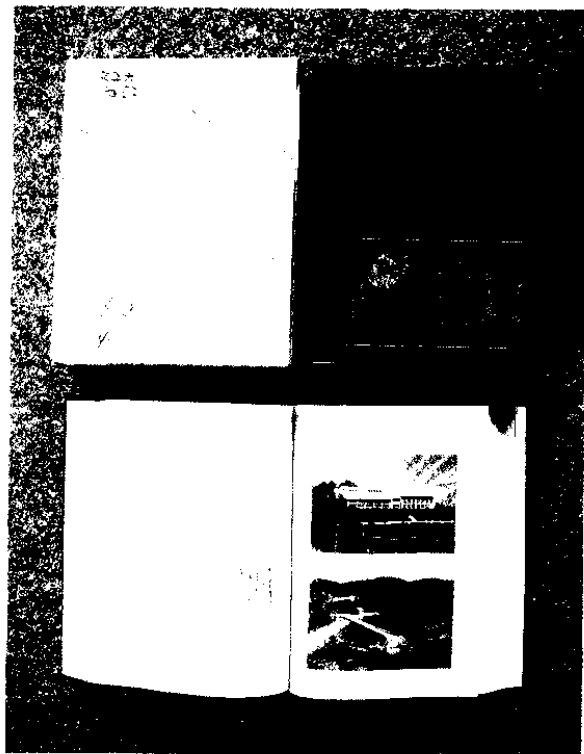
出版記念式典

六月十五日午後自然体養村センターにおいて、松之山町史出版記念式典が行われました。

当日は編さん委員・監修者・編集委員・調査執筆委員・出版社など、直接町史に関係した五十人ほどが集まり出版を祝いました。

予約者への配本作業も六月十八日には終了し、残部や資料は公民館に引継ぎました。

まだ部数がありますので、ほしい方は公民館（☎六十二二六五）へ申し込んでください。一冊九〇〇円です。



ソフトな表紙で内容豊かな松之山町史

お詫びと訂正

町史の一部に誤りがありましたので訂正します。

◎351頁写真4-6、352頁写真4-7の()内説明
 〈正〉(松之山町歴史民俗資料館所蔵)
 〈誤〉(小野塚正家所蔵)

◎巻末協力員名簿の平成二年、新山集落
 〈正〉山岸石雄 〈誤〉山岸石松

水道料金の精算方法

漏水注意

水道メーター検針月は5月・7月・9月・11月の年4回です
 水道料金精算月は6月・8月・10月・12月の年4回です
 精算月以外は基本料金プラス暫定量(大口消費者のみ)となっています

6月分水道料金の算出方法 (家庭用1ヶ月基本水量10m³)

水量 計 算	1	今回の検針	500m ³	メーター指示数(5月に検針)各家庭に表示
	2	前回の検針	200m ³	メーター指示数(前年11月に検針) //
	3	差引使用水量	300m ³	(5月の検針) - (前年11月の検針)
	4	基本水量	60m ³	10m ³ × 6ヶ月分(1月~6月分)
	5	暫定量	25m ³	5m ³ × 5ヶ月分(1月~5月分)
	6	超過水量	215m ³	(差引使用水量) - (基本水量) - (暫定量)
料金 計 算	7	基本料	1,854円	家庭用1ヶ月基本料金(6月分)
	8	超過料	39,775円	超過1m ³ 185円 × 215m ³
	9	メーター使用料	51円	1ヶ月51円(6月分)
水道料金			41,680円	6月分請求額

暮
ら
し
便
利
帳

※水道料金納入通知書兼領収書が毎月各家庭に送付されますので確認ください。
 ※不明な点がございましたら役場水道係まで連絡してください。

7月17日オープン!

●新潟
かさね村

新潟のすべてがわかる新名所がオープン
 します。

新潟・黒崎インターチェンジのすぐそば
 350台収容の大駐車場があります。

夏休みの家族旅行に、職場の旅行に、利
 用してください。

料金 大人 500円 小中学生 300円

〒950-11 新潟県西蒲原郡黒崎町山田2307

TEL (025)230-3000 FAX (025)230-3390

特別地方消費税の免税点引上げ

皆さんが料理店・バー・スナック・旅館等を利用し、利用料金が一定金額(免税点)を超えた場合に、利用料金の支払いと一緒に納めていた特別地方消費税の免税点が、7月1日から引上げられました。

◎飲食等 1人1回につき 7,500円
 (旧 5,000円)

◎宿泊等 1人1泊につき15,000円
 (旧10,000円)

また、納められた税金のうち吉が、地元市町村に交付されます。

子どもはいつも主人公

児童手当

児童手当は、国・都道府県・

市町村と事業主が費用を持ちあ

い、児童を養育する人に児童手

当を支給することにより、家庭

における生活の安定と、次代の

社会をになう児童の健全な育成

を目的としています。

▼児童手当をうけられる人

義務教育就学前の児童を含む

十八歳未満の児童を二人以上養

育している方で、収入が一定の

額未満の場合に支給されます。

二番目の児童には月額二五〇

〇円、三番目以降の児童には、

一人につき月額五〇〇〇円が義

務教育就学まで支給されます。

くわしくは役場年金係まで



年金相談

現在の国民年金制度について、また国民年金保険料の未納や追納について、厚生年金被保険者証および年金手帳を2冊以上持っている人、また昔、出稼ぎ等で会社に勤めていたことのある人で、厚生年金に加入していたか、またその期間を調べてもらいたい人などどんな御相談でも結構です。

お気軽にお出でください。

◎日 時 7月30日(火)
10時～3時まで

◎場 所 役場2階会議室

◎相談員 上越社会保険事務所から
1名および役場国民年金係

上越新幹線東京駅乗入れ開始

ますます便利に 越後湯沢直通バス

7/1～8/31

松之山→越後湯沢→東京

松之山温泉発	7:20	15:20
松之山発	7:25	15:25
東川発	7:33	15:33
湯沢駅西口着	8:30	16:30
上越新幹線	とき 406号	とき 422号
越後湯沢駅発	8:49	16:58
大宮駅着	9:54	18:02
上野駅着	10:14	18:22
東京駅着	10:20	18:28

東京→越後湯沢→松之山

上越新幹線	とき 451号	とき 419号
東京駅発	7:52	15:40
上野駅発	7:58	15:46
大宮駅発	8:18	16:06
越後湯沢駅着	9:22	17:10
湯沢駅西口発	9:30	17:20
東川着	10:27	18:17
松之山着	10:35	18:25
松之山温泉着	10:40	18:30

※市内の運行時刻と乗車場所については配布されたチラシや4月号の広報をご覧ください。

6月の フォト ニュース

1 旧三省小で落語会

六月十八日午後、旧三省小学校体育館で本格的な落語会がありました。

出演者は、入船亭扇海・北見寿代・立川龍志の三人でした。

入船亭扇海さんは現在、ツいで、落語で会場を笑わせたあと、隠し芸ともいえる「犬を待つ妻」の仕草をおもしろおかしく演じてくれました。

北見寿代さんは落語家ではなく、手品や南京玉すだれを得意とする奇術師です。

会場の手拍子にあわせて、独特の語りと南京玉すだれを器用に操り、いろいろな形を作ってくれました。

また、お腕と玉の手品も見事で、消えたり出たりの玉はどうなっているのか不思議でした。

立川龍志さんは真打ちで、観客を最後まで引きつける話術は流でした。

娯楽の少ない松之山町にも、このような方たちが大勢来てくれると良いですね。



女性より女性らしい仕草で
観客を沸かせました

見て見て！
釣れちゃった



2 鯉つり大会は大にぎわい

梅雨入り直後の六月十二日午後、東川小学校全児童による鯉つり大会が行われました。

場所は東川小プールで、冬期間プールに入れておいた鯉を太公望気分で釣っていました。

日頃から釣を楽しんでいる子供たちはコツを知っているの、次々に鯉を釣上げていました。あまり経験のない子供たちは四苦八苦しながら釣糸を垂れていました。

また、高学年が低学年のユサをつけたり釣り方の指導をしたりと、小さい学校ならではの良さもありました。

用意されたポリバケツには十センチ前後の鯉が泳ぎまわり、釣れるたびに子供たちの歓声が山々に響きました。

先生方も子供たちといっしょに釣りましたが、釣り好きの校長先生はさすがにうまく、ポリバケツもアツというまに、杯に

なりました。

約二時間で十四位釣った子供もいて、お互いに何匹釣ったか見せあっていました。

釣られた鯉は子供たちが家に持ち帰ったり、池や水槽で元気に泳いでいるそうです。

鯉がいなくなったプールはきれいに清掃され、子供たちが黒鯉に負けないほど真っ黒になって泳いでいます。

3 親子で楽しくのびのびと

家でも気軽にできる体力づくり

六月二十一日の夜七時から、町民体育館で「お父さんと一緒に体力づくり」が行われ、約五十組の親子が参加しました。

体力づくりの指導をしてくれた先生は、浦川原村教育委員会に勤務する富坂一長先生です。

先生は昨年も指導してくれ、顔なじみの人たちが多かったので気楽に声をかけながら指導をしていました。

お父さんの腕にぶらさがりプ

ランコをしたり、肩車をしてもらったりと子供たちは大喜びでした。

お父さんは子供を肩にのせ走ったり、お馬さんになったりと一生懸命サービースに努めていました。

また、お父さん一人で子供を三人つれてきた人もいて、終わる頃には汗びっしょりになっていました。

お母さんたちの参加も多く、

お父さんに負けないよう力いっぱい頑張っていました。

子供をボールのようにキャッチボールする運動があり、最初怖がって悲鳴をあげていた子供も、お父さんたちの腕力に安心したのかニコニコしていました。今回指導していただいた運動は家の中でもできますので、子供とのスキンシップをはかるためにもぜひ実行してください。



お父さんとお母さんで子供の
キャッチボール



松里地区簡易水道の浄水場を見学

4 水の作り方おしえて

六月七日午後、浦川小学校と東川小学校の四年生が、天水越にある松里地区簡易水道の浄水場を見学しました。

これは社会科の授業の一つで、森しに密着した施設を見学しながら学ぼうというものです。

浄水場見学の前に、津南町にあるゴミ処理場を見学しました。年々増加するゴミの処理が社会問題となっていますが、子供

たちも今回の見学で、ゴミ処理の難しさや大変さがわかったと思います。

浄水場では役場の水道係の方から説明をうけ、初めて見る設備に感心を持っていました。

見学が終わると水道係の方に次々と質問し、答えを熱心に聞いていました。

質問の中には「どうして東川には水道がないの」という厳しい

質問があり、水道係の方も返答に困っていました。

また、冬期間でも検査のため毎日浄水場にこなければならぬことや、水に病原菌が入らないよう注意しなければならぬなど苦勞話をしてくれました。皆さんもこれからが本番です。水の使用料もグングン増えますが、浄水能力には限界がありますので節水にご協力ください。



リラックスして、はいOKです

5 総合検診受けましたか？

六月十七日から二十一日までの五日間、町民体育館及び自然体養村センターで町総合検診が行われました。

この総合検診はミニ人間ドックといつて良いほど設備が整い、最新鋭の検診測定機器を使用しています。

健康への感心が年々高くなつていますが、比例するように検診の受診率も高くなっています。今年の受診率は約八十七パーセントで、県内でもトップクラス

に位置しています。

また、ガン予防のために胃ガン検診・子宮ガン検診を受ける方が大幅に増加しました。

昨年と比較すると、胃ガン検診は七四四人から九〇〇人へ、子宮ガン検診は二八〇人から三二三人へと増えています。

胃ガン検診の受診者が増えたのは、個人別に時間を指定して待ち時間が短くなったことと、町民の皆さんが恐ろしいガンを防ぐには、早期発見・早期治療

がいかに重要であるかわかってきたことと思われます。

七月九日・十一日・十六日の午後一時から二時まで、自然体養村センターで乳ガン検診がありますので受診してください。

なお、検診の結果についてはできるだけ早く皆さんにお知らせするため、生感検査センターで分析作業を進めていますので、もうしばらくお待ちいただきましたと思います。

6 梅雨を吹飛ばせ！健康マラソン

六月二十九日午後、巴之下線入口を出発点とした健康マラソンが行われました。

心配された天候もスタートする頃には青空が出てきて、絶好のマラソン日和となりました。

午後二時、自然体養村センター前で開会式と準備体操を行い、小さい子供たちやお母さん方の一キロの部からスタートしました。

お母さんに手を引かれた子供

や、逆にお母さんの手を引っぱってゴールする子供もいました。

小学校低学年から二キロになり、いっしょに走った先生と楽しいデットヒートを演じていました。

高学年になるとさすがに早く、トップを走る子供は中学生と大差ないタイムでした。

参加された方は約三五〇人で、各部門の一位になった人は次のとおりです。

- ▼一キロの部 (幼児・一般) 久保田キヨミ (藤原) 4分34秒
- ▼小学校低学年の部 (二キロ) 小野塚純也 (東川小二年) 8分48秒
- ▼小学校高学年の部 (二キロ) 高橋佳男 (松里小六年) 7分34秒
- ▼中学生・一般の部 (二キロ) 小林辰男 (松之山中) 6分32秒



小学校低学年のスタート

6月の フォト ニュース

7 第二回若葉会舞踊発表会



見事な舞踊を披露した若葉会の皆さん



松之山甚句でフィナーレ

六月二十三日午前十時より、町民体育館で第二回若葉会舞踊発表会が開催されました。会場には五〇〇人ほどの観客が集まり、農閑期の一日を楽しく過しました。湯山神楽で幕が開き、舞踊・民謡など五十以上の出し物がありました。

若葉会は兼坂流舞踊なので、東京からも兼坂喜美代先生を始め、兼坂流舞踊の四人の方々も特別出演しました。兼坂先生は日本舞踊の先生でもあるので、情緒豊かな「潮来

あやめ」を舞ってくれました。観客も一曲ごとに大きな拍手をし、出演者も見事な舞踊や民謡を披露してくれました。

また、観客から花束をもらう人や、おひねりをもらう人など芸能人になったような気分を味わっていました。

プログラムの変更が若干ありましたが、予定どおり午後三時頃には終了しました。

十月には芸能祭がありますので、そちらでも見事な舞踊や民謡を披露していただきたいと思

8 東京松之山会設立

六月九日午後、東京四谷の主婦会館で、東京松之山会の設立記念大会が開催されました。各校区ごとの会はありましたが、松之山出身者全体の会は今までになく、当日出席された各会の会長さん方から、親ともいえる東京松之山会ができたことは頼もしいと祝賀を受けていました。

地元松之山からは町長・議長議員など二十名近くが出席し、なつかしい方々と楽しそうに歓談していました。

会場のあちこちに人の輪ができ、再会を喜ぶ人・お互いを紹介しあう人など、なごやかな雰囲気でした。

松之山と東京を結ぶこの会ができて本当に良かったですね。

東京松之山会創立記念大会



お祝のあいさつをする佐藤町議会議長

集落探訪

豊田

歴史と地名

町の西部、澁海川支流樋田川の両岸に位置する。

昭和五十四年、樋田と崩田の両集落が合併し豊田となり、集落センターができた。

江戸時代には、東浦田村・西浦田村・北浦田村の三つの村がこの集落を構成していた。

樋田川右岸地区は東浦田村、左岸地区は西・北浦田村の一部として開発が進められ、崩田地区は三村が競って開発した。

いずれにしても、浦田の各村々が複雑に入り組んでいたと思われる。

このように境界がはっきりしないのは、明治六（一八七三）年に浦田地区の七か村が合併し、浦田村となったからである。

明治二十二（一八八九）年に町村制が施行され、それまでの村が大字という単位になった。

もし、明治六年に浦田地区の七か村合併がなければ、現在の

大字浦田は江戸時代の七つの村名（東浦田・西浦田・北浦田・南浦田新田・中立山新田・本山新田・藤原新田）が大字として残ったことになる。

浦田地区の歴史を調べるうえで、この大字制が非常にネックとなっている。

また地すべりの常習地帯であり、昭和三十七年の春には崩田で大規模な地すべりが発生し、三棟が移転、被害額も八七七万円に達した。

現在草毛池までの林道工事が進められており、お国八十八番薬師堂の金精石仏群とともに観光面で脚光をあびている。

お国八十八番

文政四（一八二二）年、豊田の高沢藤助は四国八十八番巡拝を発願、二月一日に村を出立して伊勢に詣で、三月十四日四国の多度津（香川県）に着いた。

その後は徳島・高知・愛媛と四国を一巡し、四月十九日ふた

たび多度津に着いた。

この間毎日四十キロメートルを歩くという健脚ぶりであった。

藤助は五月十五日前後に無事帰宅し、仏への報恩感謝からお国八十八番の建立を発願した。

藤助は多くの人々の協力を得て、文政六年から八年にかけて次々に仏像を建立した。

この四国八十八番廻路は今日

でも行われており、観光バスなどで容易に巡拝できる。

しかし、江戸時代には相当な路銀が必要であり、数か月を要する長旅であった。

そこで在所に居ながら、廻路と同じ功德が得られるというお国八十八番が各地に作られた。

豊田のお国八十八番もそのうちの一つである。

薬師堂と金精石仏群

崩田に薬堂となった薬師堂があり、その堂の柱には鹿兒島城下生まれの修験者の名前が墨書されている。

薬師堂の建立年月・本寺名も不詳だが、境内に残された石祠や金精石仏群から厚い信仰があったと思われる。

この金精石仏群は、男根を抱いた光背型の観音像が三基、男根像が四基、そのうちの一基には観音像が線刻されている。大きさは三十×四十センチメートルと小振りである。

残念なことに、造立年代や信仰目的がわかっていない。おそらく子授けや夫婦和合を目的としたと思われるが、男根を抱く観音像は非常に珍しい。

性信仰は洋の東西を問わず、豊かな生産力の象徴として古くから信仰されてきた。

この金精石仏群も道祖神の一変種とした場合、五穀豊穡・悪霊や疫病の侵入阻止が目的だったとも考えられる。

見る者を楽しくさせる金精石仏群は、後世に伝えたい貴重な民俗資料である。



江戸時代後期、庶民の厚い信仰心によって
建立されたお国八十八番

関東地方を中心に放送してまいりました放送大学の講座で、松之山小学校と浦田小学校が放送教材として選ばれ放映されています。講座名は「地域社会と教育」(全十五回)で、そのうちの第三回「学校の成立と地域」、第四回「教育内容と地域社会」でくわしく取り上げられています。講師は上越教育大学の新井郁男副学長と、松之山町出身で同大学の若井弥一助教授です。

実際の撮影は昨年九月に行われ、松之山小学校では創立から現在までの歴史・県下学校初のテレビ導入・パソコン教育などが取材され、浦田小学校では山村留学について取材しました。どちらも学校と地域の結びつきに重点を置き、過疎化のなかでも先進的な教育を行っている町として紹介されています。松之山町ではこの放送大学を視聴できませんが、放送大学よりビデオが教育委員会・松之山小学校・浦田小学校に送られましたので、ご覧になりたい方がおられましたら学校等から借りてください。



放送大学のテキストとビデオ

献血ありがとうございます

安高松之山分校生徒も協力

六月十四日、安高松之山分校で献血が行われました。午前中は訪れる人も少なく担当も手持ちぶさたで、目標の人数に達しないのではないかと心配していましたが、午後になると松之山分校の二・三年生と満十六才以上になった一年生が協力してくれ、にぎやかな献血風景となりました。

献血は初めてという生徒も多く、血圧測定・血液型・比重測定と一つ一つ検査をかさね、献血車で友達と雑談をしながら採血していました。

当日献血を行った人は約九十名で、そのうちの半分以上が生徒の皆さんでした。なお、七月二十九日午前は浦田克齋センター、午後は松里の老人憩いの家に献血車がきますのでご協力をお願いします。また、十一月八日には成分献血車が役場にきます。この成分献血車は血液中の血漿を主に採血しますが、一人の採血時間が約一時間もかかり、成分献血車で一日十四人が

限度だそうです。しかし、普通の献血と異なるのは、一週間後にはまた成分献血ができることです。普通の献血でも献血間隔の見直しがあり、一〇〇ミリ採血の場合は四週間、四〇〇ミリ採血の場合は男十二週間・女十六週間となります。



献血に協力してくれた松高生の皆さん



町民バレーボール大会

六月十七日と十八日の夜、町民体育館で平成三年度町民バレーボール大会（六人制）が行われました。

今年の大会には十チームが参加し、そのうちの四チームは高校生チームでした。

また、女性だけのチームも三チームあり、例年になく華やかな大会となりました。

試合の方は一日目に予選トーナメントを行い、二日目は準決勝戦・決勝戦・三位決定戦を行いました。

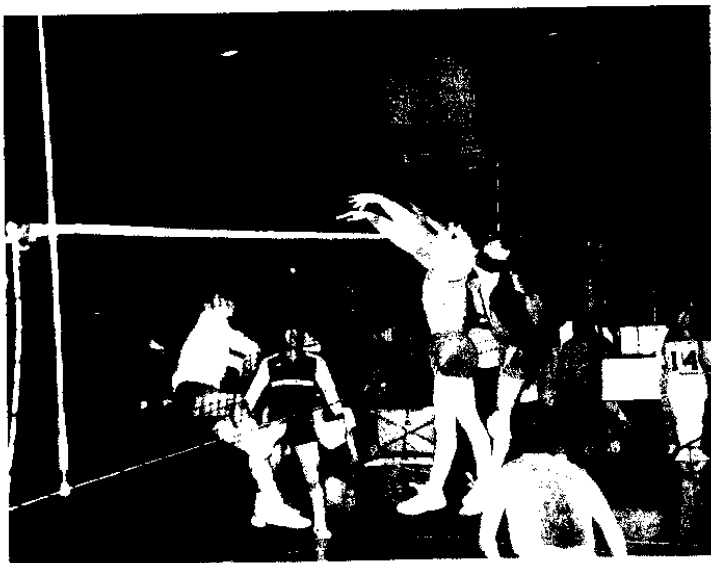
一日目の予選トーナメントに出場した、教員バワイズ91の応援団はにぎやかで、得点が入るたびにワーワー・キヤーキヤーと歓声をあげていました。

しかし、一回戦で準優勝をした昇勢会チームに当たり、健闘しましたが二対〇で負けてしまいました。

女性だけのチームには三・四メートルのネットは高すぎ、ハンドとして互点位あっても良いように感じました。

二日目の準決勝はともに一般チーム対高校生チームとなり、熱戦の末どちらも一般チームが勝ちました。

決勝戦はMBC対昇勢会で、二対〇でMBCが勝ち、三位決定戦は松高三年対一七〇cm平均の子ビどもで行われ、二対一で松高三年が勝ちました。



バシッ／バッチリ決ったスパイク

郷土の歴史教室

松之山町史が完成し、町の豊かな自然や歴史が学術的に解明されました。

町に残された自然を後世に伝え、先人達が苦勞をしながら築いてきた松之山の歴史を学んでみませんか。

また、町史で取上げられなかった貴重な資料や話題を、視聴覚教材等を使用しながら丁寧に説明いたします。

具体的な日程については、申込み締切り後参加者に連絡いたします。

▼期間 七月から十一月まで八回を予定

▼会場 自然体農村センター

▼講師 町史編さんに携った先生方が担当します

▼申込み 七月二十二日までに公民館へ電話で申込みてください。

少年野球教室

ナイター野球も順調に試合を消化していますが、公民館では小学生に野球の楽しさを知っていただくため、少年野球教室を開催することになりました。

一人でも多くの小学生から参加していただき、最終日には組自戦が組めたらと思っています。

基礎から始めますので、初心者でも安心して参加できます。

▼期日 七月七日から八月十日まで

八日までの毎週日曜日、午後三時から四時まで

▼場所 町民グラウンド

▼指導者 松之山町野球連盟

▼対象者 原則として小学校四年生から六年生

▼参加費 三六〇円（スポーツ障害保険料）

▼申込み 公民館へ電話で申込みてください。



エキサイティングな綱引き

各地区三十人づつ参加しますので、一五〇人もの人たちが正

第16回

町民体育大会

7月28日

十六回目を迎える町民体育大会が、七月二十八日の日曜日に町民グラウンドで開催されます。

今までは松之山中学校グラウンドで行っていましたが、りっぱな町民グラウンド・管理棟・駐車場が整備されましたので、今年から会場が町民グラウンドに変わりました。

種目の方では定額ほこびがなくなり、さあ・どっち?という新種目になりました。

この新種目は○か×で答えるクイズ形式で、正解すると一つ前進し、全五問正解するとゴールできます。

各地区三十人づつ参加しますので、一五〇人もの人たちが正

解を求めて右往左往する姿が見られるかもしれませんね。

また、どのようなクイズが出るのかもわかりませんので、この新種目の事前練習はできないと思います。

奨励種目のロードレースに二キロコースが新設され、二キロは小学生、三キロは中学生以上となりました。

他の種目については例年通りですので、選手に選ばれた方は昨年の事を思い出して練習してみてください。

梅雨明け後の一番暑い時に開催される大会だけに、体調を整えて具合が悪くならないよう十分注意してください。

町民体育大会プログラム

開始時間	種目
8時30分	開会式及び体育協会表彰
9時40分	100m競争 小学生～高校生 (地区対抗)
10時00分	紅白玉入れ (地区対抗)
10時10分	2・3キロロードレース
10時15分	幼児レース
10時40分	モグラ競争 小学生1・2・3年
10時50分	さあ、どっち? (新種目・地区対抗)
11時05分	ナイスドリブルナイススローリレー (地区対抗)
11時15分	砲丸投げ (地区対抗)
〃	小・中全員走 50m～100m
11時50分	一般100m走 自由参加
12時50分	頭脳綱引き 中・高女子
13時00分	騎馬戦 中・高男子
13時10分	綱引き (地区対抗)
13時30分	長縄とび (地区対抗)
13時40分	民謡おどり
13時55分	縄ないリレー (地区対抗)
14時10分	女子リレー (地区対抗)
14時35分	男子リレー (地区対抗)
15時00分	閉会式

新潟県スポーツフェスティバル

八月三日・四日と上越市を会場に、第三回新潟県スポーツフェスティバルが開催されます。

新潟県及び市町村では、手軽にできるスポーツの普及を図り、健康増進と体力の向上を推進しています。

なお、次の種目の県大会に松之山町からも参加します。

▼ソフトバレーボール
八月三日・四日
上越市総合体育館
▼男女混合綱引き
八月四日
高田スポーツセンター

町内一周ファミリー体操

毎年多くのご家族から参加いただいています。町内一周ファミリー体操(一〇〇日運動)に取り組みましょう。今年も始めました。

配布されたチラシには、町内一周できる略図が書いてあり、スポーツや軽い運動をしたら〇印を塗りつぶしてください。

一〇〇日運動をすると町内一周を達成し、県より認定証が、町から記念品が贈られます。

家庭・職場・地域ぐるみで参加してみませんか。

お知らせ

夏の交通事故防止運動

7/21~
8/20

夏休みの解放感や屋外活動が活発となることから、子供と高齢者の事故が多発します。

また、若者を中心とした過労による居眠り運転・飲酒・著しい速度超過等の無謀運転も多くなります。

新潟県ではこれらの事故を防止するため、スローガンとして「危険です いねむり追い越し飛ばし過ぎ」

重点事項として次の三点をあげています。

一、若者を中心とした無謀運転の追放

二、子供と高齢者の交通事故防止

三、市町村の実態に合った重点事項の推進

お盆前後の帰省シーズンには車が増えますので、十分注意するよう心がけてください。

「行方不明の人を捜す相談所」開設

警察では、八月を行方不明の人を捜す重点月と定め、各地で相談所を開設して皆さんの相談に応じます。(無料)

皆さんの家族や知り合いの人で、

- 病気を苦にして家出をした
- 外出したまま行方がわからなくなった。

○出稼ぎ先から便りが途絶えた等で、その後消息が知れずお困りの方は、ぜひとも相談においでください。

でください。

相談所では、全国各地で亡くなられ、身元のわからない方の写真などを用意してあります。

◎巡回相談所

○八月五日(月)午前九時から午後七時まで

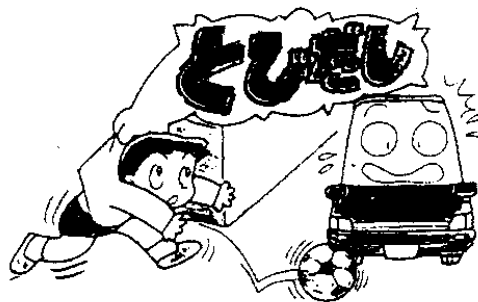
○上越北警察署

※なお、新潟市にある県警察本部では、常時相談所を開設していますのでお出掛けください。

献血にご協力を

7月29日(月曜日)

午前 浦田克雪センター
午後 松里老人憩いの家



短歌

抽斗に秘めたるもの如くあり

セピア色なる母の写真は

咲き誇る牡丹の花は衰へて

堪えきれずにとつと崩れる

総身に光りをまどふくちなはが

たひらな水を静かに泳ぐ

小谷 鈴木 俊一(栄屋)

俳句

姫著菫の寄りそひ咲くや尼の寺

参道は日傘要らずの少林寺

惜春の入り船出船をキャンバスに

松之山 佐藤 節女(松屋)

菜の花を漬けて明日の旅支度

粽結ぶ亡母の仕種を偲びつつ

恙なく朝な手を染め梅を干す

松之山 高沢 秀女(南田)

川柳

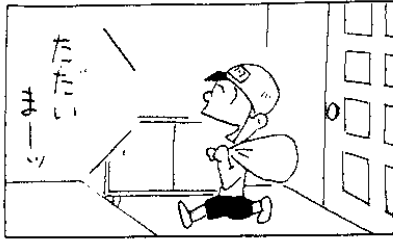
凡戦に少し早目のバスに乗る

駄馬貧馬吠かず跳ばさず梅雨最中

黒倉 草村 正孝(一枚田)

かわか君

西村 宗



平成4年度 松之山町職員募集

松之山町では21世紀を担うフレッシュな力を求めています。

あなたが生まれ育ったこの町で、思いっきり活躍してみませんか。

- 職 種 一般事務
- 採用予定人員 若干名
- 受 験 資 格

昭和42年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた者で、平成4年3月卒業見込みの者を含む。

●試験日時及び試験会場

(1)第1次試験

- 試験日 平成3年9月22日(日曜日)
- 試験場 上越市立城東中学校(上越市本城町)
- 方 法 一般知識の筆記試験並びに作文試験
- 合格発表 平成3年10月上旬に発表し、合格者に通知します。

(2)第2次試験

- 方 法 第1次試験合格者に対し、面接試験、身体検査を実施します。
- 試験日及び試験場

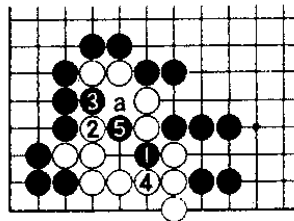
平成3年10月下旬頃、松之山町で実施します。

- 申込み方法 役場の総務課行政係に受験申込用紙を請求してください。

- 受付期間 平成3年7月5日(金曜日)から平成3年8月13日(火曜日)まで

くわしくは、役場総務課行政係(☎6-3131)までお問い合わせください。

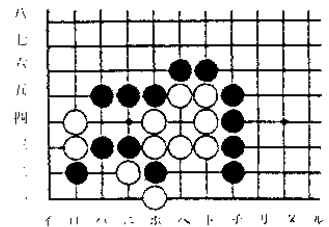
黒1の切り込みが必殺の一手。
白2と広げてくれば平然と黒3と出る手がよく、白4に黒5まで。
白aと入れないのが計算済みというわけです。



正解者

村山 伸(湯本)
久保田光栄(天水島)

6月号の答え



黒先白死(3手まで)

詰碁の解答を募集しています。7月26日までにハガキなどで広報担当まで正解者には粗品を進呈

詰碁

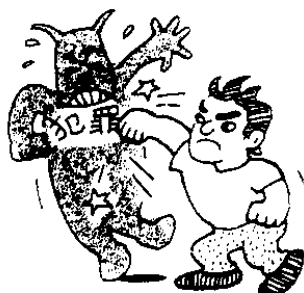
有段をめざして

土曜閉庁

7月13日・27日

8月10日・24日

※出生・死亡・婚姻の届はできます



社会を明るくする運動

戸籍の窓

おくやみ(死亡)

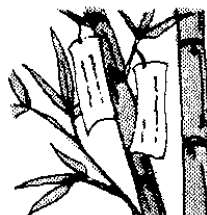
(死亡年月日)

村山秀次さん 86歳(赤倉)下宮田 3・6・6

※6月1日から30日までの届出分です。

30日	29日	28日	24日	18日	17日	16日	14日	11日	10日	9日	6日	4日	29日	27日	20日	17日	15日	14日	11日	1日				
年金相談(役場)	老人クラブ25周年大会	献血(浦田・松里)	第十六回町民体育大会	リハビリ教室(さわか)	第七回町民綱引き大会	(22日・29日も有)	糖尿病予防教室	議会臨時会	町消防団想定演習	町高齢者スポーツ大会	リハビリ教室(寸こやか)	(11日・16日も有)	乳ガン検診	第4回ながなわとび大会	ミ・エ・ジカル上演	健康マラソン	(夜間・28日まで)	町民バレーボール大会	6月定例議会	町総合検診(21日まで)	町史出版記念式典	献血(安高松之山分校)	集落総代会(転作)	山菜まつり(2日まで)

こよみ



編集後記

六月は各地で地区体育大会が開催され、一家そろって参加されたことと思います。梅雨のうつとうしさが続いています。梅雨が明ければ三十度を超える猛暑が続き、稲もグングン成育します。町の大型事業も次々に発注され、建設が始まりました。今月末には町民体育大会が行われますので、体に十分気をつけて頑張ってください。

佐藤

七月一日の人口
 総人口ノ、七七三(▲六)
 男ノ、八四四(▲二)
 女ノ、九二九(▲四)
 世帯数ノ、二六九(▲三)
 (一)内は六月一日との比較
 ▲は減

広報まつのやま七月号
 平成三年七月十日発行
 発行ノ新潟県松之山町
 ☎六一三三三三
 編集ノ総務課



3年

小林綾子さん
(上鯉池 中道)



題：おばけのてんぷら
 (ウサギさんがてんぷらをあげているところ)
 てんぷら鍋と材料を書くのに苦労しました



4年

小野塚珠恵さん
(東川 沢)



題：春のゆきだるま
 (物語で一番好きな場面を書きました)
 (いろいろな草を書くのに苦労しました)